PREO
PREMIUM OAK

TRB−4AI−PRM

保存用

コイズミ学習家具
取扱説明書（保証書付き）

●ミドルシェルフ　　**SDB-288 NS**
SDB-298 WT

⚠

このたびはコイズミ学習家具をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●事故防止等、安全のため、「使用上の注意」を必ずお守りいただいてご使用ください。
●お読みになった後は大切に保存していただき、取扱いのわからないときにお役立てください。

天然木について

●展示品とお届け品とでは多少木柄や色が違うことがあります。
●力の掛かり具合によっては表面に押しキズ、打ちキズ、塗装はげ等を生じることがあります。

この取扱説明書のマークについて

警告　説明書中の「警告」は人身事故の原因になる危険を示します。

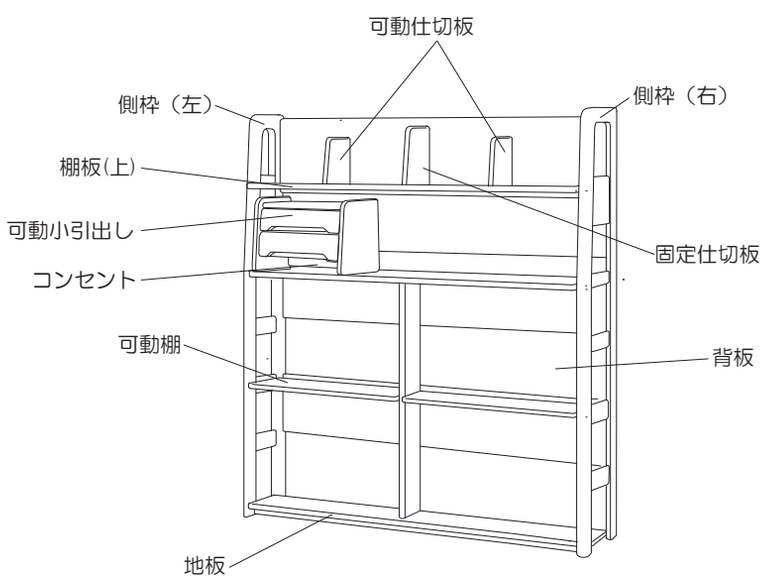
注意　説明書中の「注意」は障害や物的損害の原因になる危険を示します。

⃠ このマークのついている説明文は必ず守ってください。

⚠ このマークのついている説明文は特に注意してください。

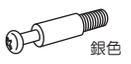
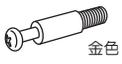
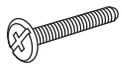
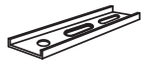
各部の名称

（イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）



1 シェルフの組立て方法

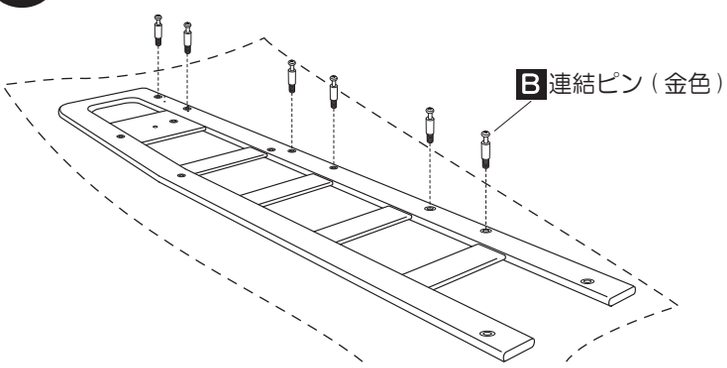
■シェルフ付属品

A 連結ピン（銀色）	B 連結ピン（金色）	C 回転金具	D ボルト(M6×35mm)	E ネジ棚ダボ	F ユニット金具	G ボルト(M6×16mm)
SZC8MB605	LTF4MB25E	SZC8MKN18	GKU4BU635	GKU4NDN08	SZCTLKSUL	GKU4BU615
						
×16	×12	×16	×4	×8	×2	×6

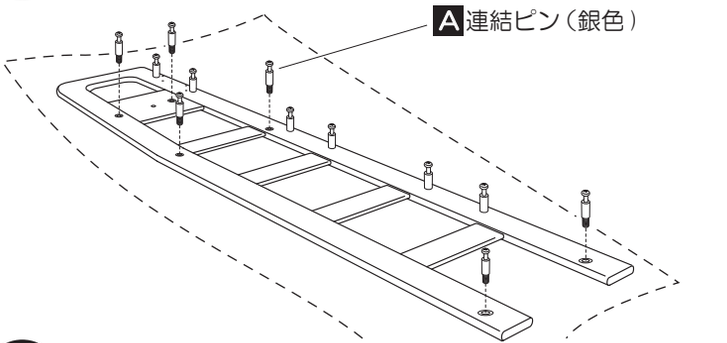
⚠小さな部品の取扱いには、十分ご注意ください。
➡お子様が飲み込むことがあります。
⚠スタイルにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。
組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。
➡部品の紛失の場合は再度ご購入いただくことになります。

※枠内の９桁表記は、部品品番となります。
※連結ピンが２種類あります。
説明書に従いお間違えのないようお取付けください。

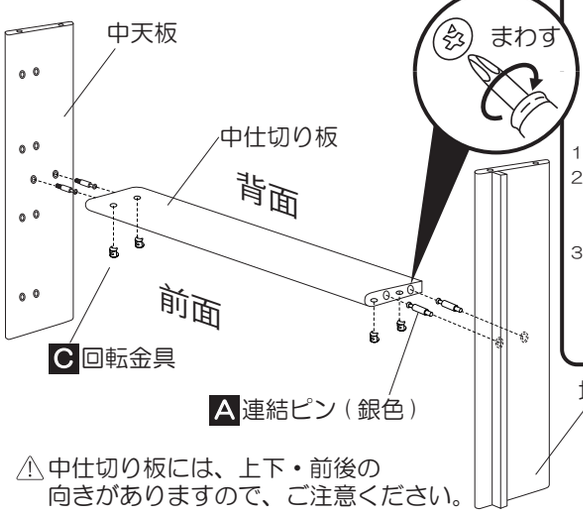
1 側板(左)への連結ピン（金色)取付け



2 側板(左)への連結ピン（銀色)取付け

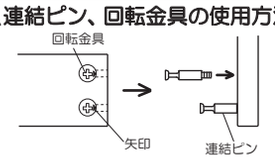


3 中天板・地板と中仕切り板の組立て

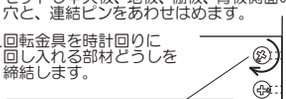


⚠中仕切り板には、上下・前後の
向きがありますので、ご注意ください。

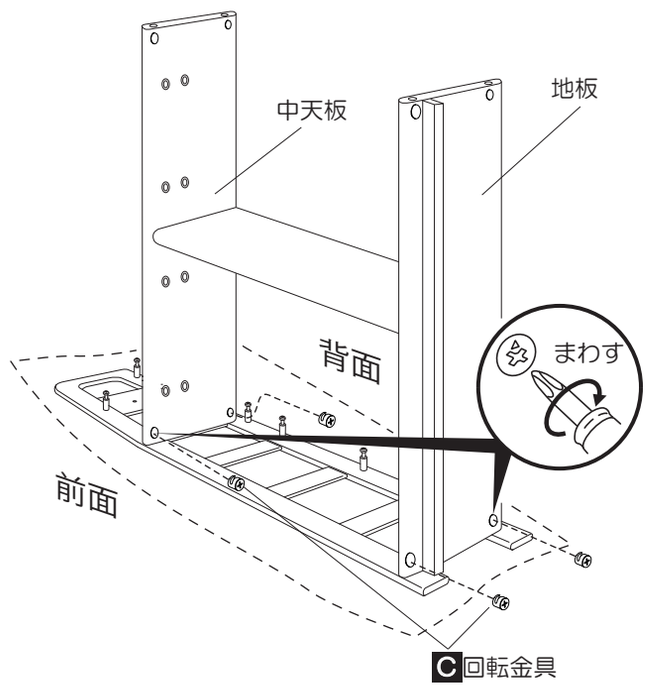
⚠連結ピン、回転金具の使用方法



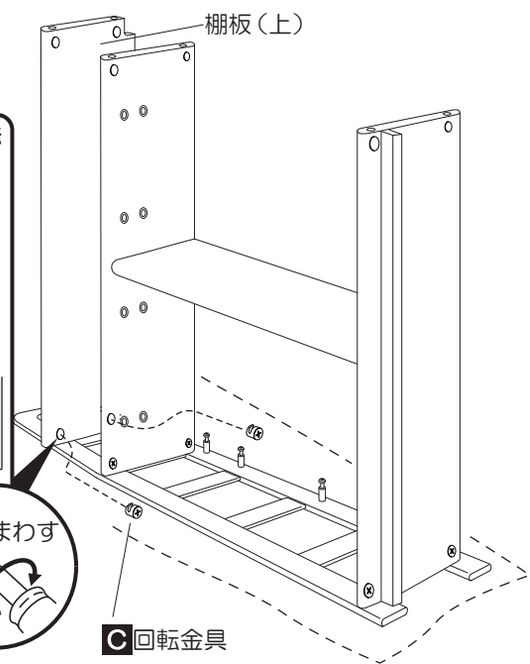
1.AB連結ピンを各部所に取付けます。
2.回転金具(取付済)又は、C回転金具の矢印部が、連結ピンに向くようにセットし中天板、地板、棚板、背板側面の穴と、連結ピンをあわせはめます。
3.回転金具を時計回りに回し入れる部材どうしを締結します。



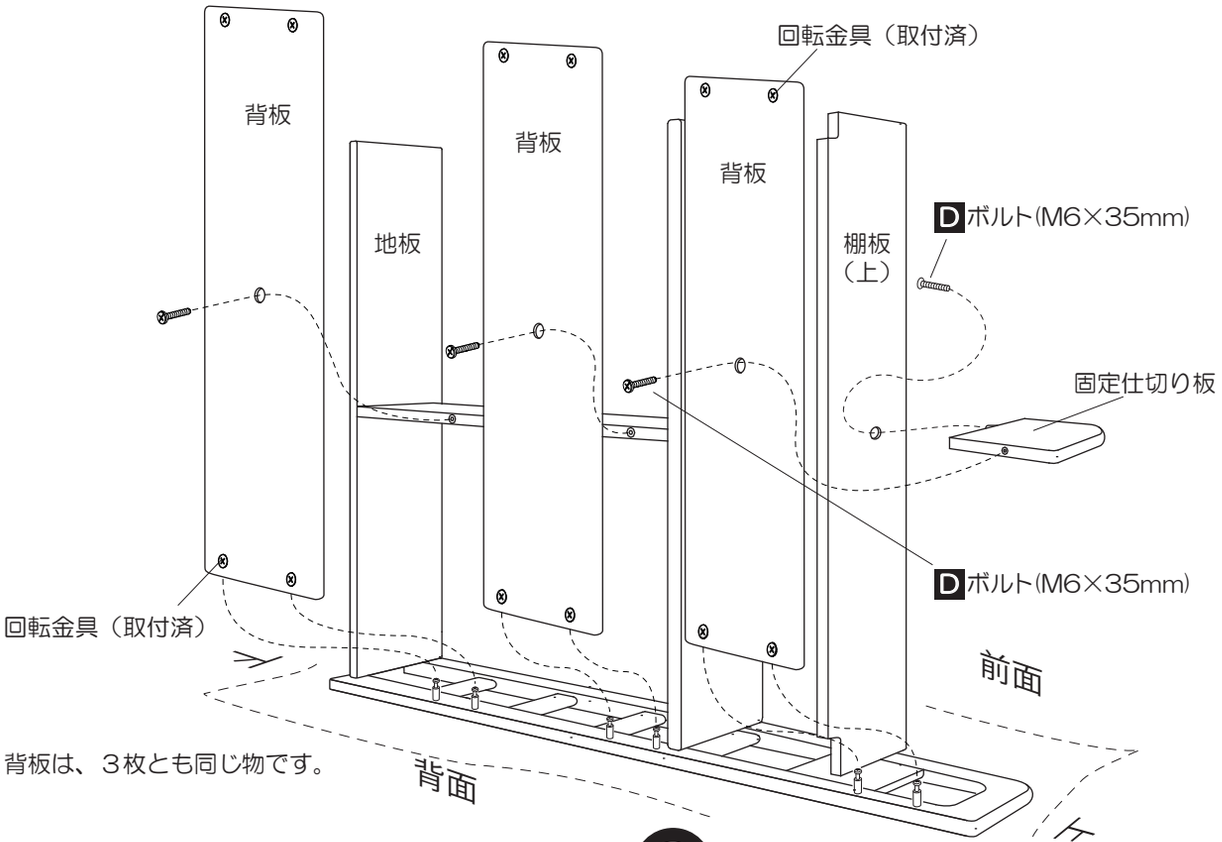
4 中天板・地板の側板(左)への組付け



5 棚板(上)の側板(左)への組付け



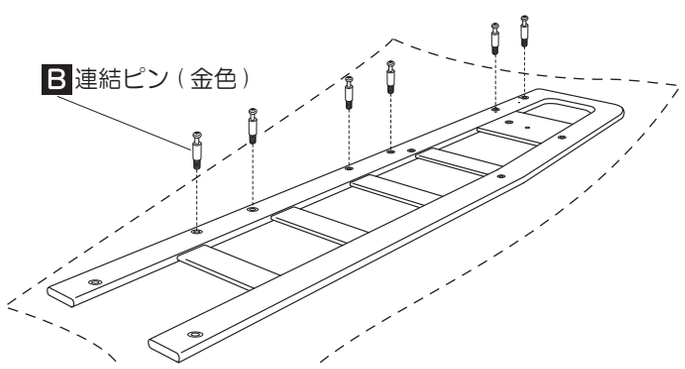
❻ 背板の側板(左)への組付け
固定仕切り板の取付け



⚠背板は、３枚とも同じ物です。

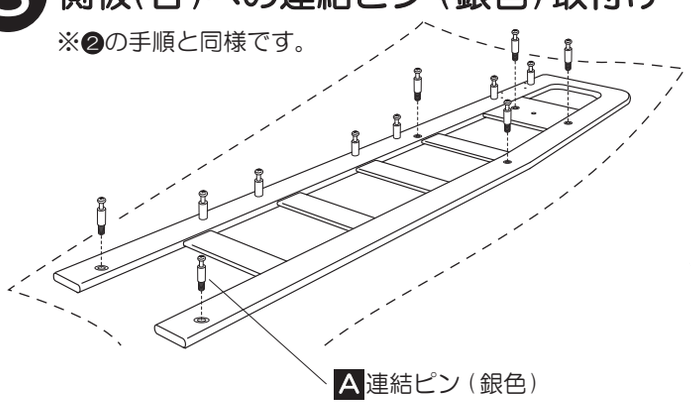
❼ 側板(右)への連結ピン（金色)取付け

※❶の手順と同様です。

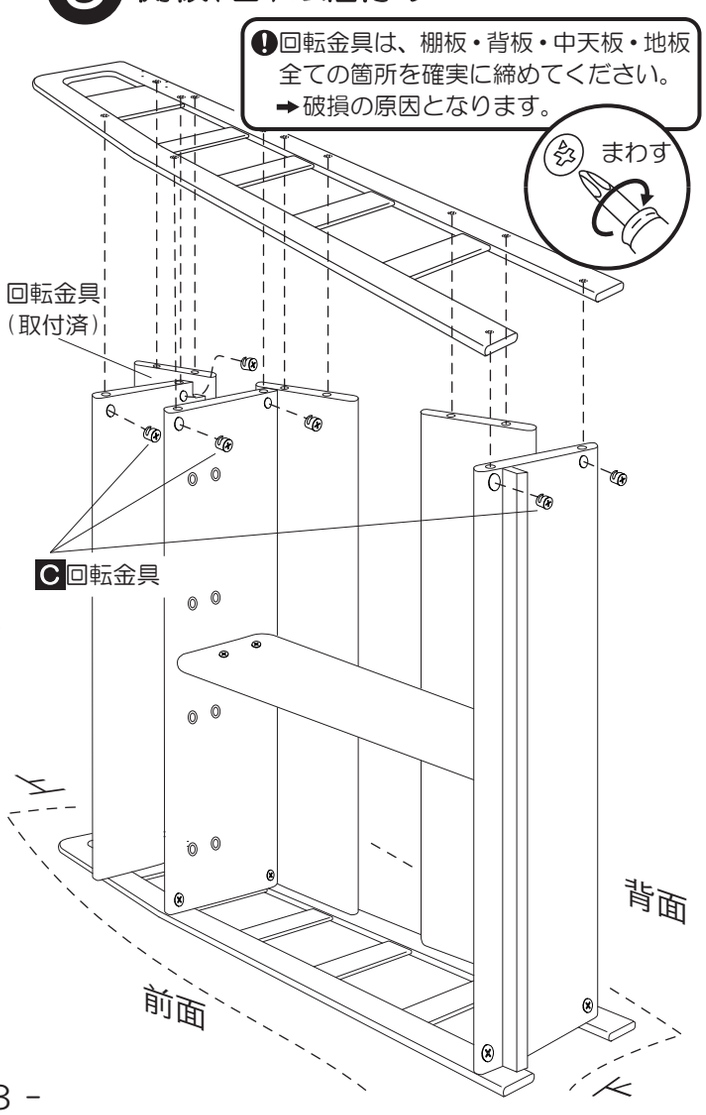


❽ 側板(右)への連結ピン（銀色）取付け

※❷の手順と同様です。

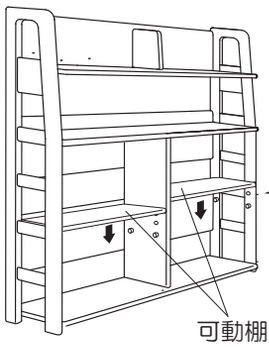


❾ 側板(右)の組付け

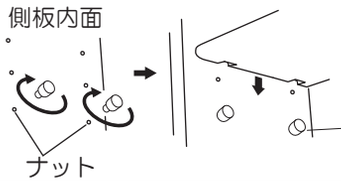


2 可動棚と可動仕切板の取付け方法

❶ 可動棚の取付け



ネジ棚ダボをシェルフ側板内側のナットにねじ込んでください。

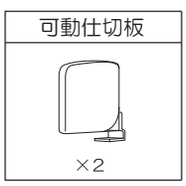


E ネジ棚ダボ

※可動棚の取付け高さは３通りに調節できます。

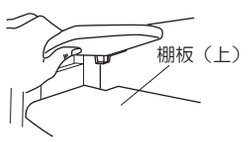
⃠可動棚の耐荷重は 15 ㎏です。
➡15 ㎏以上のものを乗せると破損やケガの原因になります。

❷ 可動仕切板の取付け

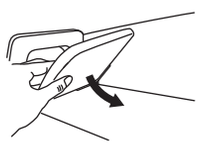


■棚板（上）への取付け

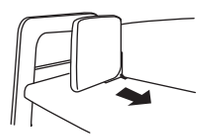
❶ 棚板（上）の後角の欠き取り部分に樹脂パーツを寝かせた状態で差し込んでください。



❷ 差し込んだ状態で可動仕切板を垂直におこして棚板（上）にはめ込んでください。



❸ 横にスライドさせて使用してください。



3 デスクとシェルフの組付け方法

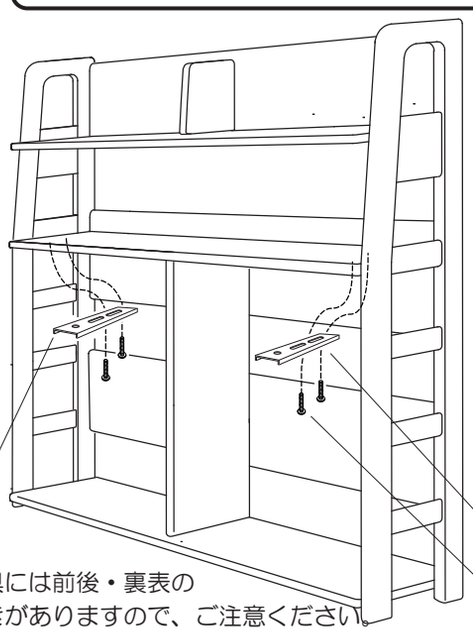
⚠デスクとシェルフの組付けは、設置予定の場所へ移動してから組付けてください。
➡組付けてからの移動は、大変重く破損やケガの原因となります。

STEP1（スタンダードスタイル）の場合

※デスクの組み立て方法はデスクに付属しているデスク組立説明書をご参照ください。

❶ ユニット連結金具のシェルフへの取付け

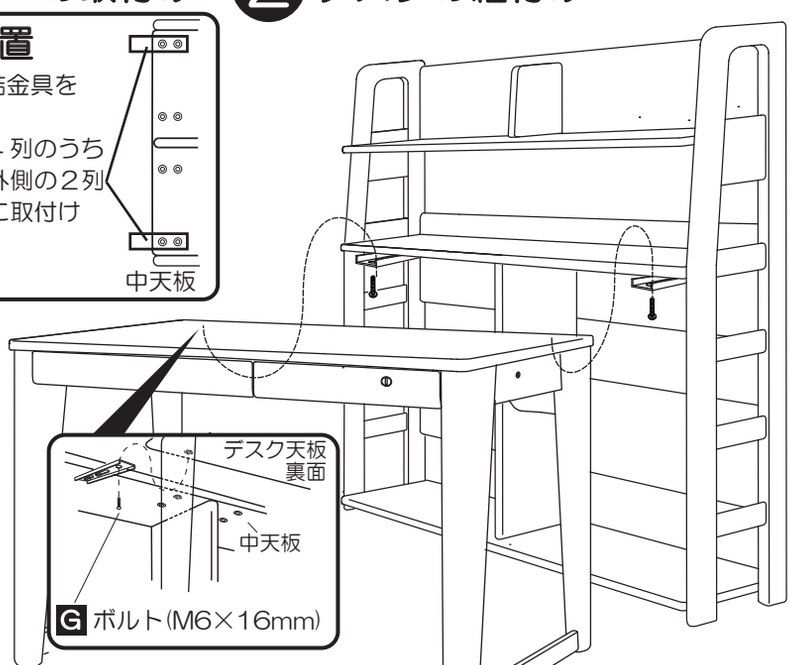
⚠ユニット連結金具取付け位置
STEP１の場合右図の位置にユニット連結金具を取り付けてください。



⚠ 金具には前後・裏表の向きがありますので、ご注意ください。

F ユニット連結金具
G ボルト(M6×16mm)

❷ デスクの組付け



⚠シェルフ側ボルト４本とデスク側ボルト２本でしっかり固定してください。

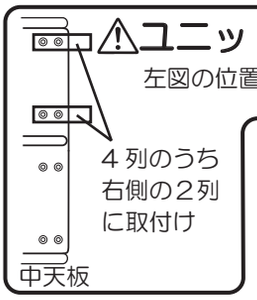
STEP2(ユニットデスクスタイル)の場合

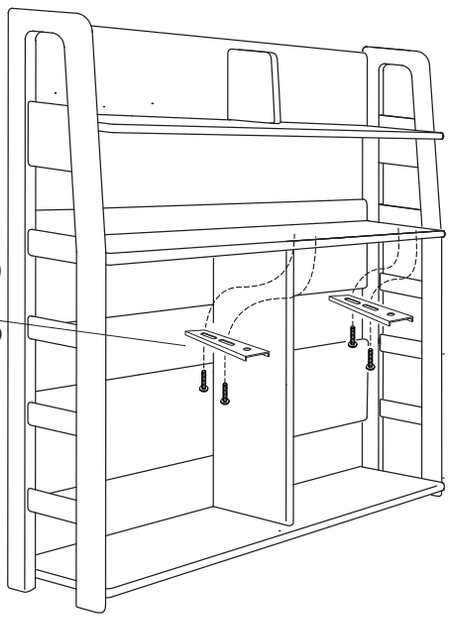
※ここでは、デスクの左がシェルフになる場合の説明となっています。(この真下の図)
右がシェルフにしたい場合は、この図を反転させて組立てしてください。

❶ ユニット連結金具のシェルフへの取付け

⚠ユニット連結金具取付け位置

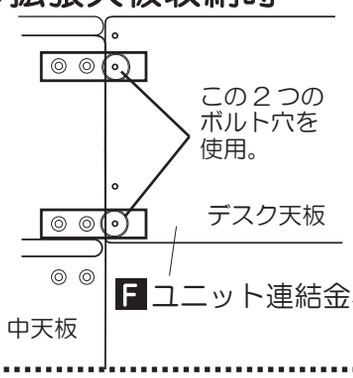
左図の位置にユニット連結金具を取り付けてください。



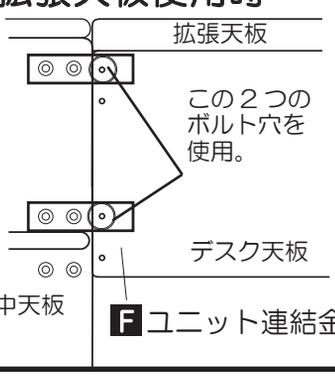


❷ デスクの組付け

○拡張天板収納時



○拡張天板使用時



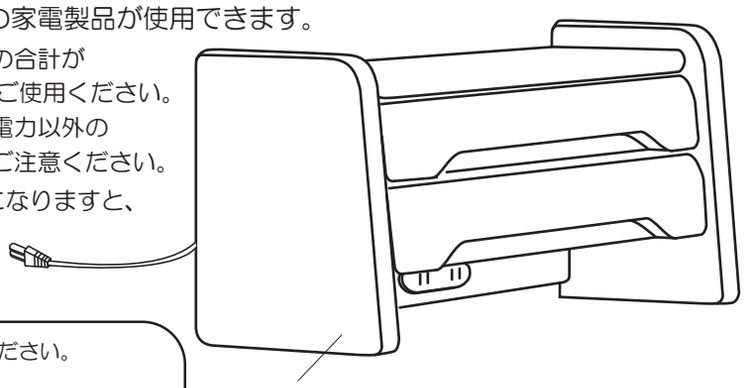
3　可動小引出しの使用方法

⚠移動の際はコンセントコードが引っ張られないようご注意ください。
➡断線・破損の原因になります。
⚠小引出しを引き出すときは、倒れたりしないよう無理な力を掛けないでください。
➡ケガや破損の原因になります。

○可動部組付けコンセントの使用方法

① コンセントは２口で、合計1500ワット(W)までの家電製品が使用できます。

⃠ご使用の家電製品の定格消費電力のワット（W）数の合計が1500 ワット（W）以下となることを確かめてからご使用ください。
エアコンや掃除機、ドライヤー等のように定格消費電力以外のワット（W）数表示のある家電製品がありますのでご注意ください。
➡合計が 1500 ワット (W) を超えた状態でご使用になりますと、加熱し、火災や延焼の原因になります。



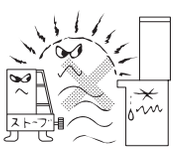
回転金具（取付済）

⚠警告

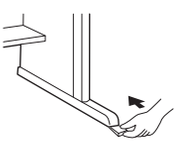
⃠ネジ類をはずしたり、分解・修理・改造は絶対にしないでください。
➡火災・感電の原因になります。
⃠プラグは完全に根元まで差し込んでください。
➡不完全ですと、火災、感電の原因になります。
⃠可動させる場合は、全てのプラグを抜いた状態で可動させてください。
➡断線・破損の原因になります。

4　設置の方法

（1）家具のすえ付け時のご注意



①すえ付け場所
⚠直射日光や熱・冷暖房器の強風等が、直接当たらないようにしてください。
➡家具がゆがんだり、変色したりする原因になることがあります。

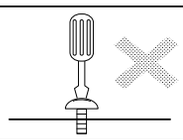
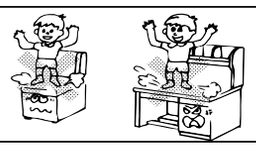
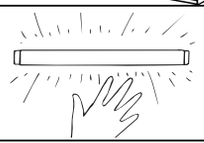
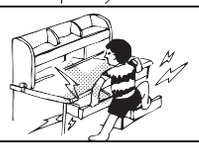
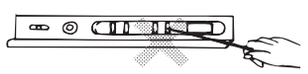
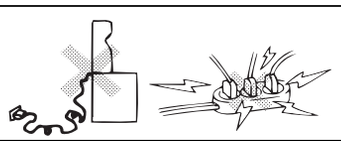
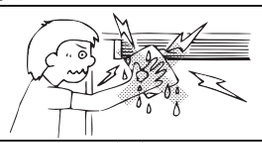
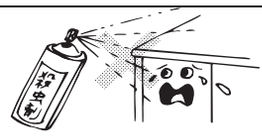


②水平設置
⚠水平を保つように置いてください。水平でない場合、家具の下に詰めものなどをして水平にしてください。
➡ガタツキのまま使っていると、引出しの出し入れがスムーズでなかったり、家具がこわれたり、ケガをする原因になることがあります。

③家具の移動
⚠家具の移動は 1 人でしないでください。
➡ケガや、器物破損の原因になります。

5 安全上のご注意　ご使用の前によくお読みください。

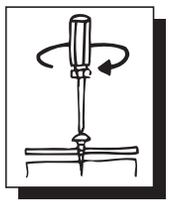
⚠ 警告　死亡や重傷の原因となる。

表示	重要事項	危害・損害	
⃠	●固定用ネジ類がゆるんだまま使用しない。	ケガや器物損傷の原因になります。	
⃠	●家具の上に、加熱したなべ・やかん等を直接置かない。	器物損傷の原因になります。	
⃠	●差込みプラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。	ケガや器物損傷の原因になります。	
⃠	●机などの上に立ったり、踏み台代わりにしたり、不安定な姿勢で掛けたりしない。	ケガや器物損傷の原因になります。	
⃠	●点灯中や消灯直後のランプおよびその周辺をさわらない。	やけどやケガの原因になります。	
⃠	●引出しや引手の上に乗ったり、扉等にぶらさがったり、無理に引っ張ったりしない。	ケガや器物損傷の原因になります。	
⃠	●器具やランプに布・紙などをかぶせたり、近づけたりしない。	ケガや器物損傷の原因になります。	
⃠	●コンセントや器具に棒等の異物を差し込まない。	ケガや器物損傷の原因になります。	
⃠	●タコ足配線したり、コードを無理に曲げたり、ねじったりしない。	火災や感電、過熱の原因になります。	
⃠	●水洗いしたり、ぬれた手でさわらない。	火災や感電の原因になります。	
⚠	●天板以外にセロテープ等を貼らない。	器物損傷の原因になります。	
⚠	●シンナー·ベンジン等でふいたり、殺虫剤をかけたりしない。	器物損傷の原因になります。	
⚠	●天板にボールペン等の傷がつかないようにマットや下敷きを使ってください。	器物損傷の原因になります。	
⚠	●塗料や接着剤のにおいが残っている場合換気をして取り除くようにしてください。	体調不良の原因になります。	

保守・点検

⚠ 注　意

●取付金物等の固定用ネジ類がゆるんでないか時々点検し、ゆるみはじめたら、しっかりしめ直してください。ゆるんだまま使っていると家具がこわれて、けがをすることがあります。また、家具の移動をした時も点検し、ゆるんでいたら、しめ直してください。



●虫害を発見した場合は、ただちに殺虫や防虫処理をしてください。他から虫が入ったことも考えられるので、放置すると虫害が拡大する恐れがあります。

SA·FU
無断転用を禁ず
(社)日本家具産業振興会
☎03-3261-2805

分解方法

● 引越しなどで分解する必要がある場合は、この取扱説明書の内容をよくお読みいただき、分解してください。

● 分解や組立ての際には、部材や部品を紛失しないよう、十分注意してください。

● 分解や組立てがわかりにくい場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、弊社お客様相談室にご相談ください。

● 分解・組立て方法については、弊社ホームページに詳細を記載している場合がありますので、
分解・組立ての際には一度ご確認ください。http://kagu.koizumi.co.jp/

コイズミ学習家具保証書

＜無料修理規定＞

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って**正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理**をさせていただきます。
①無料修理をご依頼になる場合には**商品と本書をご持参、ご提示のうえお買い上げの販売店にご依頼**ください。
②お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には下記のご相談窓口へご連絡ください。

2.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
②お買い上げ後の落下などによる故障および損傷
③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源による故障および損傷
④消耗品の消耗、又はそれによる故障
⑤本書のご提示がない場合
⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、及び字句を書き換えた場合

3.本書は日本国内においてのみ有効です。

4.本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

＊ご販売店様へ　必ず全項目をご記入のうえお客様にお渡しください。
この保証書は本書に示した期間条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品番	SDB-288NS / SDB-298WT （白いラベルで品番をご確認ください。）	
お客様	お名前	
	ご住所　〒 電話番号（　　）　　－	
お買い上げ日		販売店名·住所·電話番号
年　月　日		
保証期間（お買い上げ日より）		
3ヶ年		

（お願い）
お買い上げ日、販売店名、及び品番のわかる伝票、領収書等がありましたら、ここに貼り付けて、大切に保管してください。

お客様ご相談窓口

商品のお問い合わせ、アフターサービスは、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

◇お客様相談室　〒557-0063　大阪市西成区南津守２丁目１番 30 号　　TEL06(6658)7382

コイズミファニテック株式会社　〒557-0063　大阪市西成区南津守２丁目１番 30 号

所在地、電話番号は変更になることがあります。あらかじめご容赦ください。